

## しんまちだよりネットワーク版

府中市では「住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくり」の実現のため、地域のネットワークづくりを行っています。地域の皆さんがいつまでも住み慣れた地域で暮らしていくためにどうしたらいいのか、ご自身で取り組めることは何なのか、を考えるきっかけにいただければと思います。

## 介護保険制度について③

### ☆ケアマネジャーって何をする人？

ケアマネジャーは介護の知識を幅広く持った専門家です。介護保険サービスを利用する際、ケアマネジャーは利用者本人の心身状態や生活環境を把握し、生活課題は何か？必要な介護を考え、本人・家族の同意を得ながら、介護計画（ケアプラン）を作成します。医療機関との調整も重要な役割です。ヘルパーやデイサービスなどの事業所の調整や、1か月に一度訪問しサービスの利用状況を確認すること、必要に応じてケアプランを変更することなどがケアマネジャーの仕事です。サービスの調整だけでなく、介護保険の理念である自立支援の観点から、本人や家族がやれることもケアプランに盛り込みます。



### ☆ケアマネジャーの悩み



介護保険のサービス調整役であるケアマネジャーにできることは限られています。「電球が切れたが交換できない」「銀行にお金をおろしに行けなくなった」「病院に付き添ってほしい」「大切な手続きができない」等、生活しているとやらなければならないことが色々出てきます。これらは介護保険では対応できません。もちろん、ケアマネジャーもできません。介護保険でやれないことをどうしたらいいのか、これは多くのケアマネジャーの悩みです。家族ができれば、有料ヘルパーを利用する、成年後見制度を利用する、などの方法がありますが、お金も時間もかかります。高齢になり自分でできなくなったら…皆さん、どうするか考えたことがありますか？

### ☆「地域の助け合い・支えあい」と「自分自身の備え」

電球の交換は介護保険でやらないの？と思った方、多いかもしれません。窓ガラス拭き、散歩の同行、し好品の買い物、介護保険ではやれないことが細かく決められています。毎週決められた曜日の決められた時間内での利用になるため、急に来てももらうこともできません。保険給付なのでケアマネジャーは必要なサービスであることを見極めるため、利用者の生活全般の把握が必要です。

ちょっとした家事のお手伝いを地域住民同士で手助けすることで、地域との交流や、住民相互の見守りにつなげていくことができます。市内でも社会福祉協議会や自治会などで助け合い・支えあいの仕組みづくりが行われています。公的サービスではないこうしたインフォーマルサービスは今後ますます必要になり、ケアマネジャーはケアプランに位置付けるよう国が推奨しています。

そして、自分自身が高齢者になり、身の回りのことができなくなった時にどうするのか。家族にご自身の希望を伝えておく、書類をわかるようにしておく、家族のない方は誰に依頼するか、ご自身の事情に合わせあらかじめ考えておくことがとても大切です。

※上記は一例です。サービスの利用についてはご相談ください。